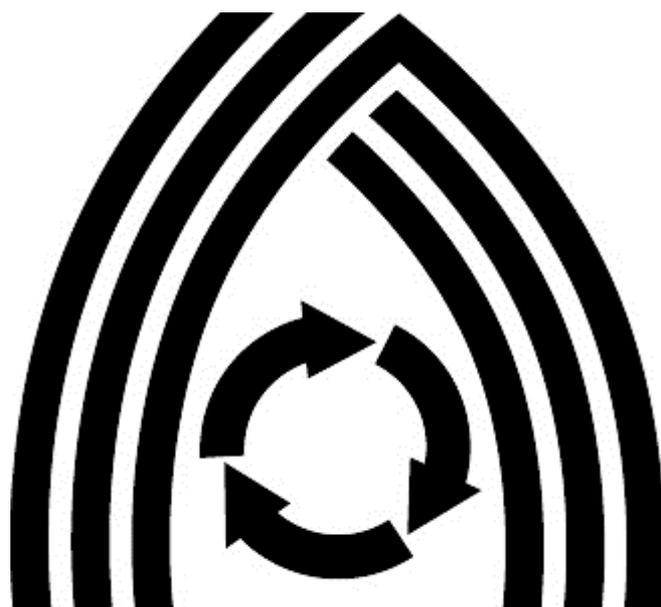


第2回厚木愛甲環境施設組合 事業報告会

日 時	平成30年2月18日（日） 午後2時から午後3時30分まで
場 所	厚木市環境センター2階会議室



厚木愛甲環境施設組合

第2回厚木愛甲環境施設組合事業報告会 次第

日 時 平成30年2月18日(日)
午後2時から午後3時30分まで
場 所 厚木市環境センター2階会議室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 報告内容

- (1) ごみ中間処理施設整備事業の概要について
- (2) 環境アセスメントの調査状況について
- (3) 施設整備計画の状況について

4. 厚木市環境センター焼却施設の見学

5. 解 散

(1) ごみ中間処理施設整備事業の概要について

厚木愛甲環境施設組合とは

- ◆ 一般廃棄物(ごみ)の共同処理を目的として、組合の構成市町村(厚木市、愛川町及び清川村)により平成16年4月に設置された一部事務組合です。
- ◆ 一部事務組合とは、地方自治法で規定された特別地方公共団体です。
- ◆ 当組合は、構成市町村と連携しながらごみ処理施設の整備を通じて循環型社会の形成に取り組んでいます。

実施する事業の範囲

厚木市・愛川町・清川村の事業範囲

- ごみの排出** ごみの減量化・資源化対策は、各市町村の施策により実施されます。
- 収集・運搬** 収集・運搬は各市町村が行います。

厚木愛甲環境施設組合の事業範囲

- 中間処理** ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設を整備・運営します。
- 資源化** 中間処理(焼却処理)後の残渣(灰)は、民間企業を活用して資源化します。

新施設の事業予定地

新ごみ中間処理施設
予定地面積：約5.5ha



新施設と現施設の比較

項目	新ごみ中間処理施設	厚木市環境センター
焼却方式	ストーカ式	流動床焼却炉
焼却能力	273トン/日	327トン/日
粗大ごみ処理量	20トン/日	50トン/日
焼却灰	全量資源化	埋立処分

新施設の整備スケジュール



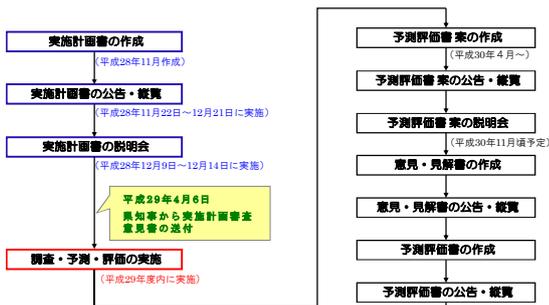
(2) 環境アセスメントの調査状況について



環境アセスメントとは

一定規模以上の開発事業を行う場合、周辺環境に及ぼす影響について、事業者自らが事前に調査・予測・評価を行い、その結果を公表して、住民、事業者、行政がそれぞれ意見を出し合い、事業計画を環境保全上の見地からより良いものとしていこうとする制度です。

環境アセスメント 手続の流れ



説明内容（調査項目）

- | | |
|--------------|--------------|
| ① 大気質・地上気象 | ⑧ 植物 |
| ② 上層気象 | ⑨ 動物 |
| ③ 水質汚濁 | ⑩ 水生生物 |
| ④ 土壌汚染 | ⑪ 景観 |
| ⑤ 騒音・振動・低周波音 | ⑫ レクリエーション資源 |
| ⑥ 地下水位 | ⑬ 安全（交通） |
| ⑦ 悪臭 | |

① 大気質・地上気象調査結果

●調査概要

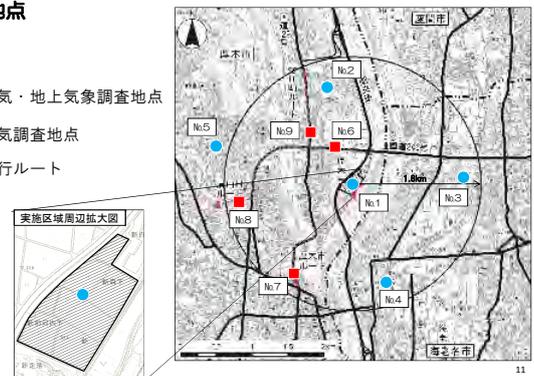
項目	時期等
環境大気 二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、窒素酸化物（一酸化窒素、二酸化窒素）、ダイオキシン類、微小粒子状物質、塩化水素、降下ばいじん、重金属類（水銀、鉛、カドミウム）、地上気象	春：平成29年 4月19～25日 夏：平成29年 8月17～23日 秋：平成29年10月12～18日 冬：平成29年12月13～19日
沿道大気 浮遊粒子状物質、窒素酸化物（一酸化窒素、二酸化窒素）	※降下ばいじんは上記期間含む1ヶ月間 ※実施区域の地上気象は1年間



① 大気質・地上気象調査結果

●調査地点

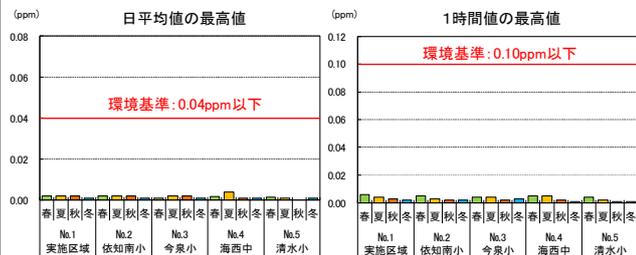
- 凡例
- 環境大気・地上気象調査地点
 - 沿道大気調査地点
 - ←→ 主な走行ルート



① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 二酸化硫黄

全ての地点で環境基準を満足していました。

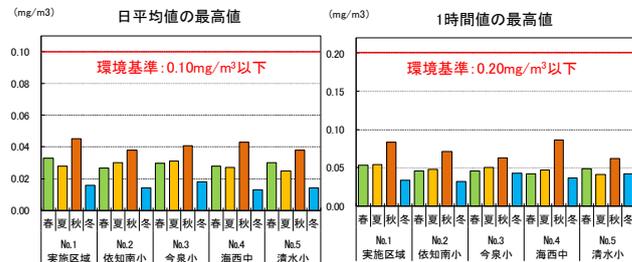


12

① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 浮遊粒子状物質

全ての地点で環境基準を満足していました。

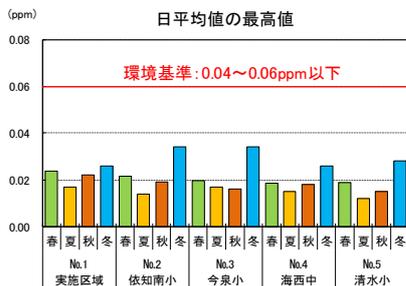


13

① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 二酸化窒素

全ての地点で環境基準を満足していました。

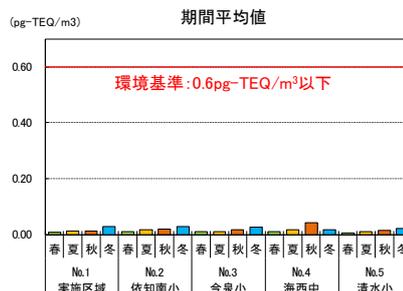


14

① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 ダイオキシン類

全ての地点で環境基準を満足していました。

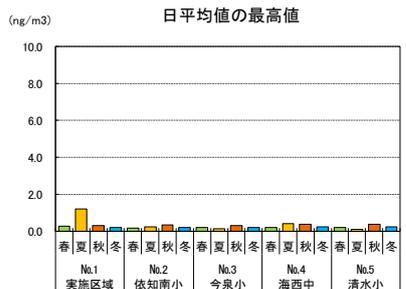


15

① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 カドミウム

各地点で0.13~1.20 ng/m³でした。

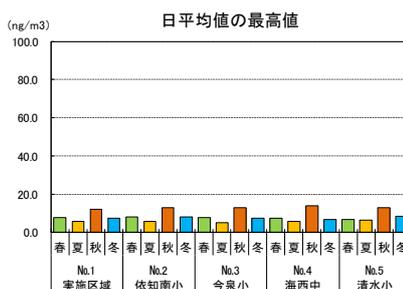


16

① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 鉛

各地点で5.1~14.0 ng/m³でした。

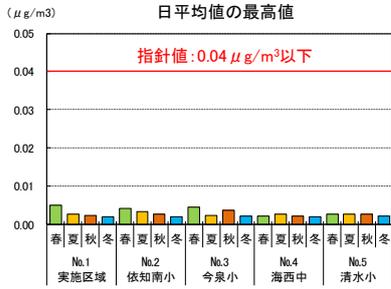


17

① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 水銀

全ての地点で指針値を満足していました。



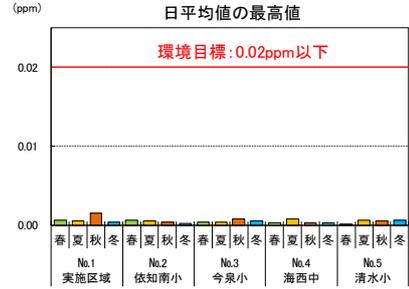
※指針値：中央環境審議会「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について」に示された値

18

① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 塩化水素

全ての地点で目標環境濃度を満足していました。



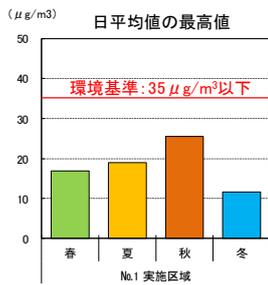
※目標環境濃度：環境庁大気保全局長通達に示された値

19

① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 微小粒子状物質 (PM2.5)

実施区域内で環境基準を満足していました。

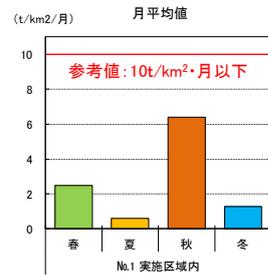


20

① 大気質・地上気象調査結果

●環境大気 降下ばいじん

実施区域内で参考値を満足していました。



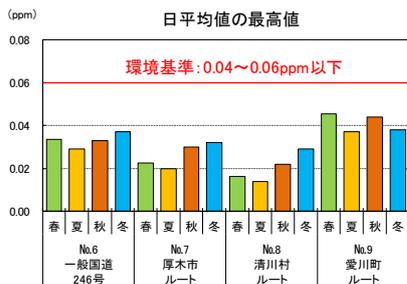
※参考値：道路環境影響評価の技術手法に示された参考値

21

① 大気質・地上気象調査結果

●沿道大気 二酸化窒素

全ての地点で環境基準を満足していました。

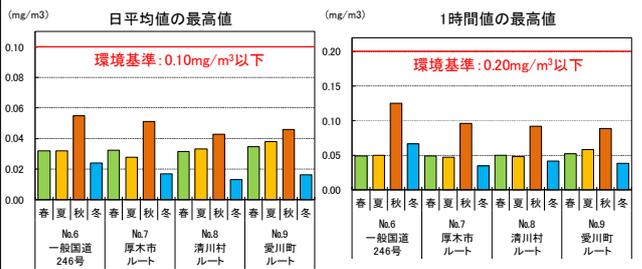


22

① 大気質・地上気象調査結果

●沿道大気 浮遊粒子状物質

全ての地点で環境基準を満足していました。



23

① 大気質・地上気象調査結果（参考）

●環境基準等について

- 環境基準は、人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで「維持されることが望ましい基準」で、行政上の目標値です。
大気質の他に、水質、土壌、騒音、ダイオキシン類について定められています。
- 排ガスの排出基準や排水基準、騒音等の規制基準は関係法令で定められた「守らなければならない基準」で超過した場合は、行政から改善命令等が行われることになります。

24

① 大気質・地上気象調査結果

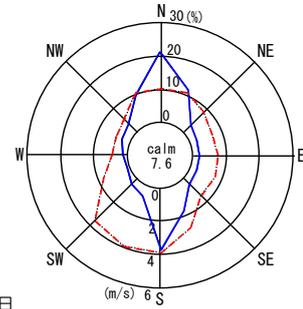
●地上気象 風配図

北と南の風が多くみられました。

— : 風向頻度

- - - : 平均風速

※静穏：0.4m/s以下



実施区域

平成29年4月1日～12月31日

25

② 上層気象調査結果

●調査概要

項目	調査日
上層気象 (気温、風速等)	春季：平成29年4月～5月、夏季：平成29年7月～8月 秋季：平成29年10月～11月、冬季：平成29年12月 各季7日間、各日3時間ごとに放球（計8回放球）

●上層気象調査について

- ・上空1.5kmまでの気温の分布や風向・風速を観測します。
- ・煙突から出る排ガスの流れと薄まり方(大気拡散)を把握するために実施します。



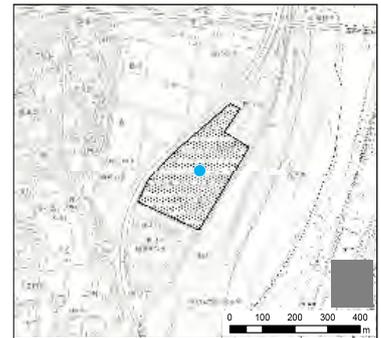
26

② 上層気象調査結果

●調査地点

凡例

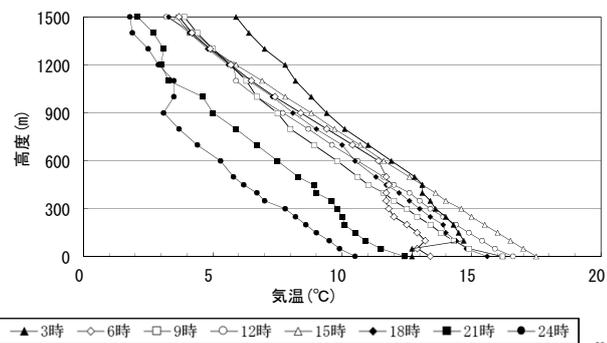
- 上層気象調査地点



27

② 上層気象調査結果

●調査結果（例：4月30日）



28

③ 水質汚濁調査結果

●調査概要

項目	調査日
浮遊物質量 (SS)	【降雨時】
水素イオン濃度 (pH)	平成29年6月21日 12時～17時 (6回採水)
流量	平成29年10月19日 12時～17時 (6回採水)



29

③ 水質汚濁調査結果

●調査結果

回数	SS (mg/L)		pH		流量 (m ³ /s)	
	6/21	10/19	6/21	10/19	6/21	10/19
1回目	84	8	7.7	7.8	2.232	0.258
2回目	42	10	7.9	7.7	2.249	0.251
3回目	46	13	7.6	7.9	2.058	0.491
4回目	110	19	8.5	7.5	4.627	0.570
5回目	84	10	7.6	7.6	1.582	0.289
6回目	50	6	7.7	7.6	1.045	0.223

30

④ 土壌汚染調査結果

●調査概要

項目	調査日
環境基準項目 ダイオキシン類	平成29年12月13日



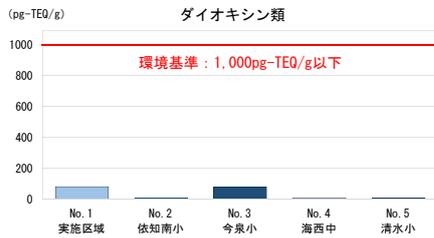
※環境基準項目は実施区域のみ

31

④ 土壌汚染調査結果

●調査結果

実施区域の環境基準項目は全項目とも環境基準を満足していました。
ダイオキシン類は全ての地点で環境基準を満足していました。



32

⑤ 騒音・振動・低周波音調査結果

●調査概要

項目	調査日
環境騒音・振動・低周波音	平成29年11月14日9:00~15日9:00
道路交通騒音・振動、交通量	平成29年11月14日6:00~22:00

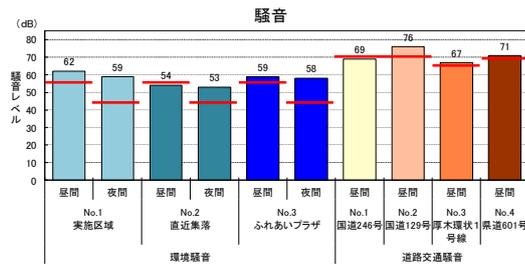


33

⑤ 騒音・振動・低周波音調査結果

●騒音調査結果

・環境騒音は隣接する圏央道の影響で、現況において一般地域の環境基準を超過していました。
・道路交通騒音はNo.1以外は環境基準を超過していました。

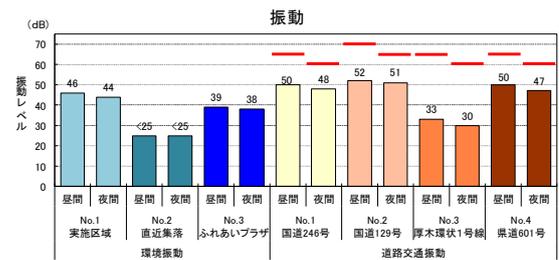


34

⑤ 騒音・振動・低周波音調査結果

●振動調査結果

・環境振動は人が振動を感じ始める値 (55dB) 以下でした。
・道路交通振動は、道路交通振動の要請限度を下回っていました。



35

⑤ 騒音・振動・低周波音調査結果

●低周波音結果

- ・G特性音圧レベル(L_{G5})は人が感じ始める値(100dB)を下回っていました。
- ・低周波音圧レベル(1~80Hz、L₅₀)は一般環境中に存在するレベルでした。

時間区分	調査結果 (dB)					
	No.1 実施区域		No.2 直近集落		No.3 ふれあいプラザ	
	L _{G5}	L ₅₀	L _{G5}	L ₅₀	L _{G5}	L ₅₀
昼間 (6~22時)	83	76	75	71	80	74
夜間 (22~6時)	82	75	74	69	80	73

36

⑤ 騒音・振動・低周波音調査結果

●交通量結果

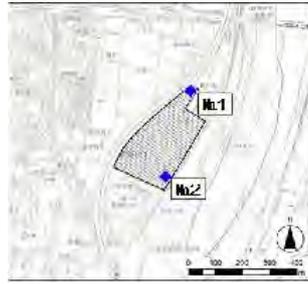
- ・24時間交通量は約9,600~62,000台でした。
- ・大型車混入率は11.9~35.2%でした。
- ・ピーク時間は朝夕の通勤時間帯でした。

項目		No.1	No.2	No.3	No.4
		国道246号	国道129号	厚木環状1号線	県道601号線
24時間 合計	交通量 (台)	大型車 15,559 小型車 46,520 合計 62,079	12,500 23,000 35,500	1,143 8,461 9,604	4,408 11,416 15,824
	大型車混入率	25.1%	35.2%	11.9%	27.9%
	ピーク時間	7~8時	7~8時	17~18時	7~8時
ピーク 時間	交通量 (台)	大型車 634 小型車 3,726 合計 4,360	615 1,779 2,394	31 627 658	232 816 1,048
	大型車混入率	14.5%	25.7%	4.7%	22.1%
	ピーク時間	7~8時	7~8時	17~18時	7~8時

37

⑥ 地下水位調査結果

項目	調査日
地下水位調査	通年(平成29年4月1日~平成30年3月31日) ※12月末までの結果を整理



地下水位観測井戸

38

⑥ 地下水位調査結果

●地下水位の推移

地下水位は、台風の時に上昇しましたが、それ以外の時期はほぼ横ばい傾向でした。



39

⑦ 悪臭調査結果

項目	調査日
特定悪臭物質(22項目)、 臭気指数	1回目:平成29年6月23日 2回目:平成29年8月17日



40

⑦ 悪臭調査結果

- ・臭気指数は、全地点で10未満でした。
- ・特定悪臭物質は、ほとんどの項目が定量下限値未満であり、わずかに検出された項目もきわめて低濃度でした。

項目	1回目(6月調査)				2回目(8月調査)			
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.1	No.2	No.3	No.4
臭気指数	<10	<10	<10	<10	<10	<10	<10	<10
アセトニブ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
メチルメルカプタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
硫化水素	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
硫化メチル	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
二酸化メチル	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリメチルアミン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アセトアルデヒド	0.0052	0.0049	0.0048	0.0048	0.0034	0.0043	0.0038	0.0045
プロピオンアルデヒド	0.0009	0.0006	0.0006	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ノルマルブチルアルデヒド	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
イソブチルアルデヒド	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ノドデカノール	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
イソブチルアルコール	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
イソブチルアルデヒド	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
イソブチルアルコール	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
酢酸エチル	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ブチルアルコール	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
トルエン	0.02	0.06	0.11	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
キシレン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
エチレン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
プロピオン酸	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ノルマルブチル	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ノルマルペンタ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
イソブチル	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005

41

⑧ 植物調査結果

項目	調査日
植物調査	早春季：平成29年3月29日～30日
	春季：平成29年5月8日～9日
	夏季：平成29年7月24日～25日
	秋季：平成29年10月2日～3日

●植物調査について

どのような植物が生育しているか調べることを目的として実施しています。



植物調査

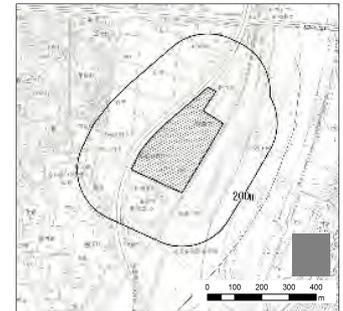
42

⑧ 植物調査結果

●調査地点

凡例

○ 植物調査範囲



43

⑧ 植物調査結果

●調査結果（確認種）

早春季、春季、夏季、秋季に調査を行った結果、381種の植物の生育を確認しました。

分類	全体	季節					
		早春季	春季	夏季	秋季		
シダ植物	3	1	3	2	1		
種子植物	裸子植物	3	3	2	1	1	
	双子葉植物	離弁花類	166	67	106	92	116
		合弁花類	98	47	61	57	63
	単子葉植物	111	37	43	58	68	
合計	381種	155種	215種	210種	249種		

44

⑧ 植物調査結果

●調査結果（重要な植物）

実施区域外にて、重要な植物のミゾコウジュ、カワチシャの2種の生育を確認しました。

分類	重要な種の確認位置	
	実施区域内	実施区域外
植物	(確認なし)	ミゾコウジュ、カワチシャ

45

⑧ 植物調査結果

●調査結果（主な植物）



子ガヤ(一般種・実施区域内外)

ハリエンジュ(別名ニセアカシア)
(外来種・実施区域外)

ミゾコウジュ(重要種・実施区域外)

カワチシャ(重要種・実施区域外)

46

⑨ 動物調査結果

項目	調査日	調査対象
動物調査	早春季：平成29年3月29日～30日	両生類、昆虫類
	春季：平成29年5月8日～9日	哺乳類、鳥類、両生類、昆虫類
	初夏季：平成29年6月19日～20日	鳥類、爬虫類、昆虫類
	夏季：平成29年7月24日～25日	哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類
	秋季：平成29年10月2日～3日	哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類
	冬季：平成29年12月18日～19日	哺乳類、鳥類

47

⑨ 動物調査結果

●動物調査について

どのような動物が生息しているか調べ
ることを目的として実施しています。



哺乳類調査



鳥類調査



両生類調査



昆虫類調査

48

⑨ 動物調査結果

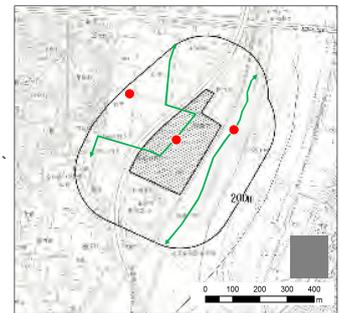
●調査地点

凡例

○ 動物調査範囲

● 動物調査地点
(哺乳類トラップ、鳥類定点センサス、
昆虫類トラップ)

← 動物調査地点
(鳥類ルートセンサスのルート)



49

⑨ 動物調査結果

●調査結果（確認種）

早春季、春季、初夏季、夏季、秋季、冬季に調査を行った結果、
哺乳類7種、鳥類59種、爬虫類5種、両生類3種、昆虫類581種
の生息を確認しました。

分類	全体	季節					
		早春季	春季	初夏季	夏季	秋季	冬季
哺乳類	7	—	3	—	3	3	4
鳥類	59	—	46	32	30	29	34
爬虫類	5	—	—	2	3	1	—
両生類	3	2	3	—	2	2	—
昆虫類	581	69	241	229	248	212	—

50

⑨ 動物調査結果

●調査結果（重要な種）

重要な種は、主に実施区域外にて生息を確認しました。

分類	重要な種の確認位置	
	実施区域内	実施区域外
哺乳類	(確認なし)	イタチ
鳥類	チュウサギ、コチドリ、モズ、ヒバリ、 ツバメ、セッカ、セグロセキレイ、 カワラヒワ	チュウサギ、コチドリ、タシギ、ミサゴ、 モズ、ヒバリ、ツバメ、オオヨシキリ、 セッカ、セグロセキレイ、カワラヒワ、等 計21種
爬虫類	(確認なし)	ヒガシニホントカゲ、ヤマカガシ、 ニホンマムシ
両生類	トウキョウダルマガエル	トウキョウダルマガエル
昆虫類	ナツアカネ、ミヤマアカネ、コガムシ、 ヒゲコガネ	クロイトトンボ、ハグロトンボ、 ナツアカネ、ミヤマアカネ、ケラ、 スズメシ、アシミゾナガムシ、 コガタミズアブ、等 計13種

51

⑨ 動物調査結果

●調査結果 (主な動物)



タヌキ(一般種・実施区域内外)



イタチの足跡(重要種・実施区域外)



アカネズミ(一般種・実施区域外)



ハツカネズミ(外来種・実施区域内)

52

⑨ 動物調査結果

●調査結果 (主な動物)



キジバト(一般種・実施区域内外)



コチドリ(重要種・実施区域内外)



トビ(一般種・
実施区域内外)



カワラヒワ(重要種・実施区域内外)

53

⑨ 動物調査結果

●調査結果 (主な動物)



54

⑨ 動物調査結果

●調査結果 (主な動物)



55

⑨ 動物調査結果

●調査結果 (主な動物)



56

⑩ 水生生物調査結果

項目	調査日	調査対象
水生生物調査	早春季：平成29年3月29日	ベントス(底生動物)
	春季：平成29年5月8日	魚類
	夏季：平成29年7月24日	ベントス(底生動物)
	秋季：平成29年10月3日	魚類

●水生生物調査について

水中にどのような生物が生息しているか調べることを目的として実施しています。



水生生物調査

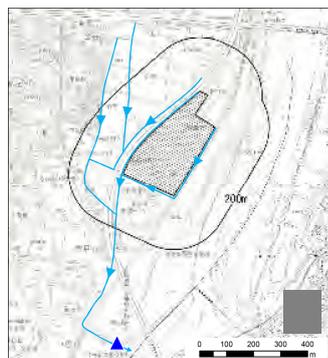
57

⑩ 水生生物調査結果

●調査地点

凡例

- ▲ 水生生物調査地点
- 放流水路



58

⑩ 水生生物調査結果

●調査結果(確認種)

早春季、春季、夏季、秋季に調査を行った結果、魚類13種、ベントス(底生動物)40種の生息を確認しました。

分類	全体	季節			
		早春季	春季	夏季	秋季
魚類	13	—	6	—	11
ベントス(底生動物)	40	26	1	27	—

59

⑩ 水生生物調査結果

●調査結果（重要な種）

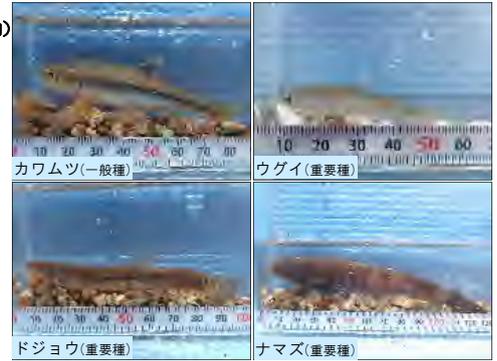
重要な魚類として、アブラハヤ、ウグイ、カマツカ等の6種、重要なベントス(底生動物)として、シジミ属、ハグロトンボ、コガムシの3種の生息を確認しました。

分類	重要な種の確認位置
	放流水路
魚類	アブラハヤ、ウグイ、カマツカ、ドジョウ、ヒガシマドジョウ、ナマズ
ベントス(底生動物)	シジミ属、ハグロトンボ、コガムシ

60

⑩ 水生生物調査結果

●調査結果 (主な水生生物)



61

⑩ 水生生物調査結果

●調査結果 (主な水生生物)



62

⑪ 景観調査結果

項目	調査日
眺望景観の状況	着葉期：平成29年7月19日 落葉期：平成29年12月18日

63

⑪ 景観調査結果

八幡上公園: 実施区域は見えないが、環境センターの煙突は見える。



64

⑪ 景観調査結果

直近集落: 実施区域が見える。



65

⑪ 景観調査結果

県立相模三川公園:実施区域が見える。



66

⑪ 景観調査結果

ぼうさいの丘公園:実施区域は見えないが、環境センターの煙突は見える。



67

⑪ 景観調査結果

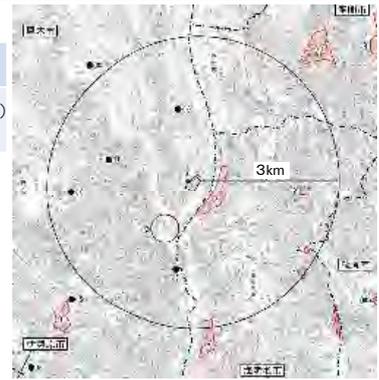
海老名運動公園:実施区域は見えないが、環境センターの煙突は見える。



68

⑫ レクリエーション資源調査結果

項目 レクリエーション資源の利用状況
調査日 平成29年10月27日(金)
平成29年11月3日(祝)



69

⑫ レクリエーション資源調査結果

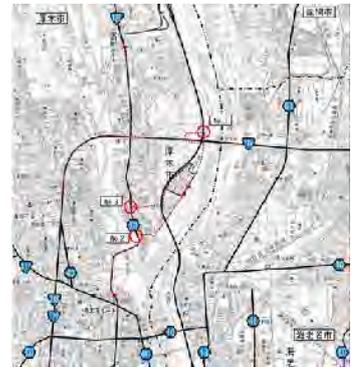
●調査結果の例(県立相模三川公園)

調査	調査地点	調査項目	調査結果の概況
公園	県立相模三川公園	利用の概況	公園、体育とスポーツ施設、多目的広場、敷木・ベンチ等の利用がある。休日等、利用人数が多くなり、ベンチ等の利用によるイベント等、家族での利用が多くなっている。
		周辺状況	周辺は、一部住宅地となっており、北部は相模川が隣接している。
周辺の状況	平日		
	休日		

70

⑬ 安全(交通)調査結果

項目 自動車交通量等
調査日 平成29年7月24日(月)
7:00~19:00



71

⑬ 安全（交通）調査結果

●自動車交通量調査結果

- ・交差点合計交通量は、12時間交通量は9,364～13,926台、ピーク時交通量は901～1,465台でした。
- ・ピーク時間帯は、No.1、No.2は7～8時、No.3は15～16時でした。

区分		No.1	No.2	No.3
12時間 交通量 (台/12h)	大型車	4,482	3,215	2,681
	小型車	8,936	10,267	6,481
	廃棄物運搬車	224	444	202
	自動車計	13,642	13,926	9,364
	二輪車	423	556	393
ピーク時 交通量 (台/時)	大型車	362	227	262
	小型車	1,093	1,100	610
	廃棄物運搬車	10	24	29
	自動車計	1,465	1,351	901
	二輪車	80	108	29
ピーク時間帯		7～8時	7～8時	15～16時

(3) 施設整備計画の状況について

- ① 煙突の高さについて
- ② 緑地の検討状況について
- ③ 敷地面積について

①煙突の高さについて

■地元意見

1. 高さは80mを確保すること。
2. 太さは高さの10分の1以上とすること。
3. 昼間障害標識を設置しないよう設計すること。
(景観に配慮した設計を行うこと)

①煙突の高さについて



②緑地の検討状況について

■整備の方針

- (1) 子どもが遊べる空間
- (2) 自然環境に親しむ空間
- (3) 気持ちの良い広々とした空間

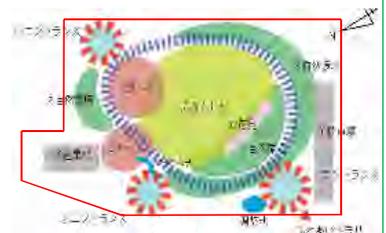
■整備のコンセプト

『自然環境に親しみながら
子どもから高齢者までが
安心して遊べて楽しむことができる
気持ちの良い広々とした身近な緑地』

②緑地の検討状況について

■緑地のゾーニング

整備方針やコンセプトに基づいた、緑地のゾーニングを考えました。
このゾーニングの特徴は、駐車場を北西側と南側に寄せることで緑地を広く有効に使えるようにし、多目的な利用が可能な「広々とした空間」を中心に隣り合った「遊べる空間」と「自然環境に親しむ空間」を融合させて、空間の境目をなくして全体的に一体感があるところです。



②緑地の検討状況について

■緑地の基本的な考え方



③敷地面積について

